

ウロコカムリ属

*Euglypha*

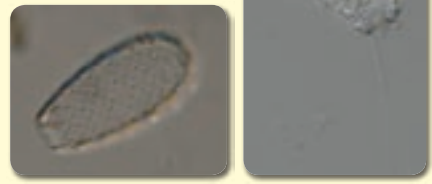
解説

透明な殻の表面にはウロコ状の模様があります。細い糸状の擬足を持ち、分類学的にはほかの有殻アメーバとはまったくちがうグループに属します。

生息場所：川や湖沼で付着藻類やミズゴケの間にすんでいます。

ウロコカムリ属の一種

*Euglypha* sp.



アクチノスフェリウム属

*Actinosphaerium*

解説

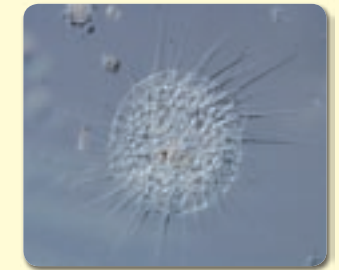
球形をした大型の太陽虫で多数の有軸仮足を出します。細胞をとりかこむように泡状の構造が見られます。

生息場所：湖、ため池などの水草の表面などにすんでいます。

個体の大きさ 200~300μm

アクチノスフェリウム属の一種

*Actinosphaerium* sp.



2 太陽虫のなかま

(太陽虫綱：HELIOZOEA)

解説

太陽虫のなかまは、水草のある池や湖沼などによく見られます。体は、球形で細胞質には液胞が多く、細胞体より放射状に多数の軸足と呼ばれる有軸仮足を出しています。その形が太陽によく似ているので太陽虫と呼ばれています。

春から秋に水草の生えた池や湖沼などのあまり汚れていない水の中でよく見られ、水草や枯れ葉などが沈んだ場所や底の泥にすんでいます。

【有軸仮足とは】

有軸仮足は太陽虫の体から放射状に出ています。太陽虫は、この仮足を伸縮させて体の移動をしたり、ゾウリムシなどのエサを取るときには、仮足を触手のようにしてつかまえ、体内に取り入れます。つまり、太陽虫の仮足は手や足のはたらきをしています。

この図鑑にのせた属

アクチノスフェリウム属、アクチノフリス属、ラフィディオフリス属、アカンソキスティス属

「太陽虫のなかま」の見分け方

骨片がない		骨片がある	
あわじょう 泡状の構造	えきほう 液胞	ゆうじくかそく 有軸仮足の基部に骨片	はりじょう 針状の骨片
 拡大 泡状の構造	 有軸仮足 液胞	 骨片 有軸仮足 骨片	 針骨片 有軸仮足 針骨片
アクチノスフェリウム属	アクチノフリス属	ラフィディオフリス属	アカンソキスティス属

アクチノフリス属

*Actinophrys*

解説

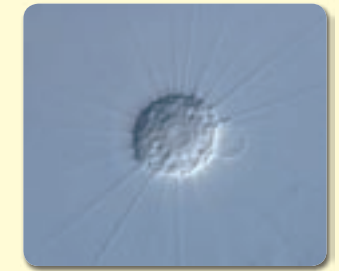
球形で多数の細長い有軸仮足を出します。中央に1つの核があり、周囲に液胞が見られます。

生息場所：湖、ため池などの水草の表面などにすんでいます。

個体の大きさ 40~50μm

アクチノフリス属の一種

*Actinophrys* sp.



ラフィディオフリス属

*Raphidiophrys*

解説

球形で多数の細長い有軸仮足を出します。有軸仮足の根元は粘液におおわれていて、仮足の根元には骨片が多数あります。

生息場所：湖、ため池などの水草の表面などにすんでいます。

個体の大きさ 50~60μm

ラフィディオフリス属の一種

*Raphidiophrys* sp.



アカンソキスティス属

*Acanthocystis*

解説

球形で多数の細長い有軸仮足と、それより短い針状の骨片を放射状に出します。そのため一見すると長短の有軸仮足があるように見えます。

生息場所：湖、ため池などの水草の表面などにすんでいます。

個体の大きさ 35~40μm

アカンソキスティス属の一種

*Acanthocystis* sp.

